

研究会開催通知

(昭和54年7月15日～8月31日)

| 研究会 | 日 | 時 | 会場 | 備考 |
|-----------|----------|-------------|-------|------|
| 人工知能と対話技法 | 7月26日(木) | 14:00～17:00 | 電 総 研 | 前号参照 |
| 医療情報学 | 8月25日(土) | 14:00～17:00 | 臨 床 研 | 下記参照 |

◆ 第1回 医療情報学研究会

(主査: 大島正光, 代表幹事: 稲田 紘, 開原成允, 溝口文雄)

日 時 昭和54年8月25日(土) 午後2時～5時

会 場 東京都臨床医学総合研究所 2階会議室

{東京都文京区本駒込 3-18-22, 国電: 田端駅下車, 地下鉄: 千代田線千駄木下車, 都営6号白山下車, 徒歩10分, 都バス: 駒込病院下車, 病院の裏
Tel. 03 (823) 2101}

議 題 医療における推測と意志決定過程に関するワークショップ

座長 渡辺 慧 (Hawaii 大学)

(1) 米国における AIM の現状

C. A. Kulikowski (Rutgers 大学)

(2) MYCIN プロジェクトの現状

E. H. Shortliffe (Stanford 大学)

(3) CASNET について

S. M. Weiss (Rutgers 大学)

(4) 日本における研究の現状

開原成允 (東大病院), 神沼二真 (臨床研)

[概要] 疾病制御研究会の招待で主日する米国の AIM 研究者と, この分野の国内研究者との討論会です。

(なお, 当日の午前中は, 臨床研医療データ解析システムの見学, AIM 既存プログラムのデモンストレーションがあります。詳細は臨床研 神沼内線 5413, 5343 までお問い合わせください。)

研究会からのお知らせ

計算機アーキテクチャ研究会について

9月12日(水) 13時30分～17時 機械振興会館6階65号室にて研究会を行ないます。また, 11月にも開催を予定しておりますので講演ご希望の方は事務局研究会係までご連絡下さい。

コンピュータビジョン研究会について

11月28日(水)に研究会を予定しております。また, 1月(京都), 3月(東京)でも予定しております。講演希望者は開催月の前々月, 10日までに事務局研究会係までご連絡下さい。

「ソフトウェア工学シンポジウム」開催のお知らせ

情報処理技術の発達に伴い、ソフトウェア産業においてはソフトウェアからソフトウェア製品への質的変換が求められている。そのためには、そのライフサイクルに沿った系統的な生産管理が必要である。本シンポジウムでは、ソフトウェアの生産管理という視点から、いくつかの問題を提起し、その解決法をさぐろうとするものである。

会員各位におかれましては、あらかじめ日程を調整されまして多数参加されることを期待いたします。

テーマ ソフトウェア製品生産管理

開催日 昭和54年12月12日(水)、13日(木) 2日間

会場 日本都市センター 別館講堂 (千代田区平河町 2-4-1)

参加費 12,000円 (非会員 18,000円, 学生会員 8,000円)

プログラム (予定)

1. ソフトウェアとソフトウェア製品 (オープニング・セッション)
2. ソフトウェアライフサイクル管理
3. ソフトウェア製品生産コスト分析
4. ソフトウェア製品の品質保障
5. ソフトウェア製品生産の人間の側面
6. ソフトウェア技術者の養成

各セッションの詳細および参加申込等につきましては、次号でお知らせいたします。

創立20周年記念論文の公募について

情報処理学会では創立20周年を記念して、下記により「記念論文」を公募することになりました。会員の皆様には奮って応募されますようご案内いたします。

1. 応募資格

情報処理学会の会員(正会員又は学生会員)であること。応募論文は下記の部門に分けて審査する。

第1部門 昭和54年3月末現在の学生会員又は30歳未満の正会員を対象とする。

第2部門 第1部門以外の正会員を対象とする。

ただし、同一論文に第1、第2両部門の対象となる会員が含まれる場合は

第 2 部門として取扱う。

2. 論文の性格と書き方

- ア. 情報処理に関するオリジナルな論文であること。
- イ. 「情報処理」原稿執筆案内の書き方によるが、制限ページ数は 12 ページとする。ただし、論文はできるだけ簡けつにまとめることが望ましい。
- ウ. 論文は邦文に限る。
- エ. 論文には応募資格部門を明記すること。
- オ. 論文は正論文 1 部およびコピー 5 部を提出すること。

3. 応募方法と論文の書き方

- ア. 応募論文の受付期間は昭和 54 年 1 月 1 日から 8 月 31 日までとする。
- イ. 応募論文は記念論文査読委員の査読に基づき、記念論文選考委員会で採否を決定する。原則として論文の著者に照会することはしないが、採択決定後に執筆について助言することがある。
- ウ. 記念論文選考委員会は第 1 部門および第 2 部門につき、それぞれ下記を限度として受賞論文を選定する。

第 1 部門： 3 件以内

第 2 部門： 5 件以内

上記の受賞論文のうち、特に優秀なもの 3 件以内を入選論文とし、その他を佳作論文とする。

- エ. 選考結果は昭和 54 年 12 月 31 日までに論文の著者に通知する。
- オ. 選考結果は「創立 20 周年記念式典」において公表し、受賞論文の表彰を行う。
- カ. 受賞論文は「創立 20 周年記念会誌」に掲載し、又「創立 20 周年記念全国大会」において講演発表する。
- キ. 応募論文は IFIP Congress 80 の論文と重複しないよう注意すること。重複した場合は受賞を取り消すことがある。
- ク. 入賞しなかった論文は著者の希望により一般論文扱いとする。

4. 表 彰

- ア. 各入選論文の著者の 1 人（原則として第一著者）に対し IFIP Congress 80 参加費（日本—オーストラリア間交通費、会期中のオーストラリア滞在費、および登録費）を学会が負担する。ただし、参加者は IFIP Congress 80 報告書を提出する。
- イ. 各佳作論文の著者の 1 人（原則として第一著者）に対し IFIP Congress 80 登録費を学会が負担する。
- ウ. 受賞論文のすべての著者に対する表彰状および記念品を授与する。
- エ. 受賞論文 1 編につき論文別刷 100 部を贈呈する。

5. そ の 他

不明の事項については本学会事務局に問合せること。

欧文誌の原稿募集について

昨年4月に欧文誌“Journal of Information Processing”を創刊いたしました。同誌に論文発表を希望される会員は、下記を参照のうえ原稿を寄せられるようご案内いたします。

1. 欧文誌発行の目的

わが国の情報処理の研究水準向上のため、情報処理に関する諸研究の国際交流をはかる。

2. 発行計画

- (1) 50ページ×4回/年=200ページ, A4判
- (2) 純学術研究発表誌とし、PaperとShort Noteを募集する。
 - (i) Paper(原則として刷上り8ページ以内)——「情報処理」掲載の論文と同じ査読規準に基づき、欧文誌編集委員会で採録を認められた欧文論文。
 - (ii) Short Note(2ページ以内に限り)——「情報処理」掲載のショート・ノートに準じて、採録を認められた欧文による小論文。

3. 「情報処理」との関連

PaperとShort Noteの和文アブストラクトを「情報処理」に掲載する。

4. 論文原稿の書き方

- (1) 用紙はA4判(21cm×30cm)の白紙を使い、1行65ストローク、ダブルスペースで上下3cm(強)の余白を残し、パラグラフは初めを5~6字分あける。この様式で原稿をタイプした場合(図表なしで)24枚で、欧文誌刷上り8ページに当る。なお文章中指定のない場合の記号は立体、数式中の記号は斜体(イタリック)となる。
- (2) 査読の都合上、タイトル、氏名、所属およびアブストラクトを和英両語で別紙に記述する。なお和文アブストラクトは英文アブストラクトの邦訳とする。
 - (i) Paperのアブストラクト——200語以内
 - (ii) Short Noteのアブストラクト——50語以内
- (3) 図表(写真を含む)は、完成図(そのまま縮小製版できるもので、縮版した場合の希望のできあがり寸法を指定する。なお、文字は縮版のさいも読める大きさに書く。)を本文と別にし、説明文は別紙にまとめてタイプし、本文の末尾につける。ただし原稿中に図表のそう入場所を指定する。
- (4) 寄稿のさいキーワード表を添付する。(用紙は欧文誌係にご請求ください。)

5. 原稿の送付

- (1) コピー4部を送付する。
- (2) 送付先: 情報処理学会「欧文誌係」

〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3号

6. 別刷料

下記の通り別刷100部を印刷実費の一部として、ご負担いただきます。

| ページ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|-----|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 別刷料 | 5,000 | 10,000 | 15,000 | 20,000 | 25,000 | 30,000 | 35,000 | 40,000 | 55,000 | 70,000 |

シンポジウム「オンライン情報サービス」開催のお知らせ

標記シンポジウムを下記プログラムによって開催いたします。実用化の時代にはいった「オンライン情報サービス」を、研究開発、サービス提供、利用のそれぞれの立場から意見を出していただき、1980年代指向のシンポジウムの成功が期待されております。

できるだけ多くの方がたの参加をお待ちしております。

日 時 昭和54年9月21日(金) 9:30~17:00

場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)

〔地下鉄：日比谷線神谷町，都営1号線大門，都営6号線御成門下車，
国電：浜松町下車，バス：新橋—渋谷線東京タワー，等々力—東京駅
八重洲線虎ノ門5丁目下車〕

参加費 正会員，賛助会員(1口1人) 4,000円
学生会員 3,000円
非会員 6,000円

申込締切 昭和54年9月10日(月)

プログラム

午前部(9:30~12:30)

1. 基調講演 穂坂 衛(東大宇航研)
2. わが国のオンライン情報サービスの現状 中井 浩(日本科学技術情報センター)
3. オンライン情報サービス関連技術の将来動向 伊吹 公夫(横須賀通研)

午後部(13:30~17:00)

4. パネル討論

4.1 利用者の立場から

司会 山本 欣子(情開協) 笹本 光雄(田辺製薬)
名和小太郎(旭リサーチセンター) 山崎 昶(電通大)
鵜野 公郎(筑波大)

4.2 提供者の立場から

司会 上野 滋(労働省) 竹内 暢行(日経新聞)
菊池 敏典(JICST) 高月 敏晴(電電公社)
柳井 朗人(電通) 山本 毅雄(東大)

.....切.....取.....り.....線.....

昭和54年 月 日

「オンライン情報サービス」シンポジウム申込書

(該当欄に○印をお付けください)

- 受講料 _____ 円(会員，非会員)を下記により送付いたします。
- a. 現金書留 b. 銀行振込(三菱，住友，第一，富士銀行各虎ノ門支店，三井銀行本店公務部)，郵便振替は時間がかかりますから，受け付けられません。
- 申込者 氏 名 _____

連絡先 〒 _____

Tel. _____

(注) 申込書はコピーでも結構です。